

## 岡山県地区防災計画等作成推進協議会規約

(名称)

第1条 この協議会は、岡山県地区防災計画等作成推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、地域防災力の向上を図るために、県内の地区防災計画等の作成を推進することを目的とする。

(事業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するために、必要な事業を実施する。

(会員)

第4条 協議会の会員は、岡山県及び県内市町村等とする。

(役員)

第5条 協議会に次の役員を置く。

(1) 会長 1名

(2) 監事 2名

2 会長は、岡山県危機管理課長の職にあるものとし、監事は会長が指名する。

(役員の仕事)

第6条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

2 監事は、会計を監査する。

(部会)

第7条 会長は、協議会の目的を達成するため必要に応じて部会を設置することができる。

2 部会の構成及び運営方法等については、会長が別に定める。

(事務局)

第8条 協議会の事務を処理するため、事務局を岡山県危機管理課内に置く。

2 事務局に事務局長を置き、事務局長は、岡山県危機管理課地域防災推進班長をもって充てる。

(予算及び決算)

第9条 協議会の予算及び決算は、事務局が作成し、会員の同意を得て会長が決定する。

(経費)

第10条 協議会の経費は、岡山県の負担金その他の収入をもって充てる。

(事業年度)

第11条 協議会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、平成31年度についてはこの規約の施行日から始まるものとする。

(残余財産の処分)

第12条 本会の解散に伴う残余財産の処分は、岡山県が決定する。

(その他)

第13条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会員に協議の上、会長が決定する。

附則

1 この規約は、平成31年4月23日から施行する。

# 地区防災計画（避難支援個別計画）作成モデル事業について

## 1 事業の概要

平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、河川氾濫や津波等で浸水が想定される区域や、土砂災害警戒区域がある地区において、モデル事業として、県が市町村の地区防災計画又は避難行動要支援者の個別計画作成を支援する。

モデル事業の推進に当たっては、県及び県内全市町村等で協議会を設置し、計画作成過程やノウハウ等を共有し、計画作成が全県的に広がるよう取り組む。

## 2 モデル事業実施予定地区

- (1) 地区防災計画：津山市城西地区  
備前市片上地区
- (2) 個別計画：和気町田ヶ原地区

## 3 スケジュール（案）

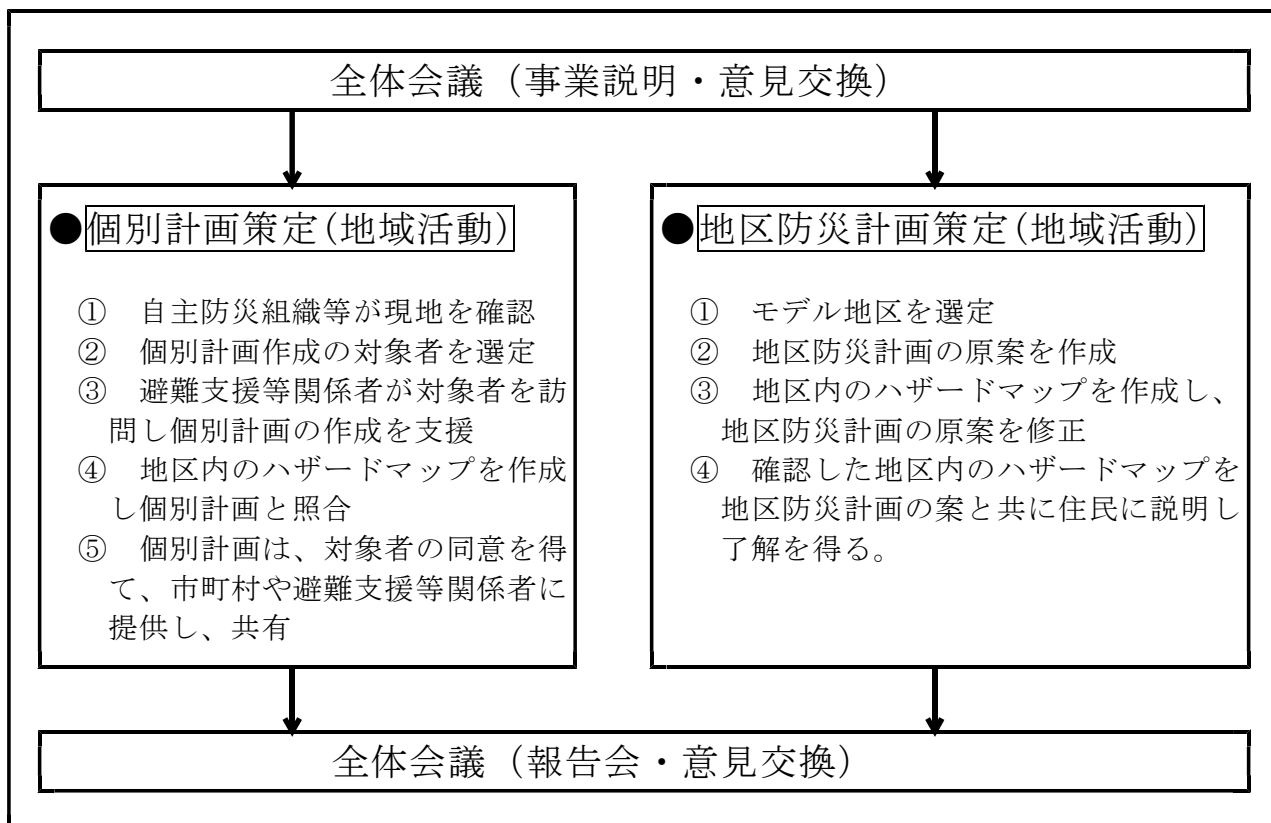
2019年	4月	協議会設置及び全体会議の開催
	5月	活動開始
2020年	1月	地区防災計画又は個別計画完成（成果品）
	2月	全体会議（報告会）の開催

## 4 事業の進め方

モデル事業実施地区において、防災及び福祉の専門家のアドバイスを受けながら計画を作成するとともに、協議会の全体会議において情報共有等を図り、全市町村での横展開を目指す。

協議会メンバーは、防災・福祉専門家、福祉団体、民生委員、市町村（防災・福祉担当課）、県民局（防災・福祉担当課）、地域住民、オブザーバー市町村等を想定

<参考：事業実施のイメージ>



地区防災計画（避難支援個別計画）作成モデル事業実施予定地区の概要

モデル地区名	津山市城西地区	備前市片上地区	和気町田ヶ原地区
作成する計画	地区防災計画	地区防災計画	避難支援個別計画
計画を作成する地元組織名	城西まちづくり協議会	片上地区支えあい実行委員会	田ヶ原自主防災会
代表者	会長 高須 昌明	会長 宇治橋 昭彦	会長 頼正 康生
地区世帯及び人口	2,176 世帯 (4,476 人)	1,624 世帯 (3,406 人)	112 世帯 (259 人)
災害リスク	<p>水害：地区隣接の河川氾濫による最大 2.0m の浸水が想定される区域あり</p> <p>地震：那岐山断層帯の地震により最大震度 6 弱の想定</p> <p>土砂：土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域あり</p>	<p>水害：南海トラフの巨大地震を想定した津波により、最大 2.0m の浸水が想定される区域あり</p> <p>地震：南海トラフ巨大地震により最大震度 6 弱の想定</p> <p>土砂：土砂災害警戒区域あり</p>	<p>水害：浸水想定なし</p> <p>地震：南海トラフ巨大地震により最大震度 5 強の想定</p> <p>土砂：土砂災害警戒区域あり</p>
取組プロセス	毎月第 3 火曜日に定期的なワークショップを実施。	毎月 1 回、事務局会議等に併せて、ワークショップ等を実施。	
備考			地区の避難行動要支援者約 10 人

# 自主防災組織の設置・育成支援について

## 1 現状と課題

都市部でのコミュニティの崩壊や中山間部での過疎・高齢化の進展等による自治組織の弱体化などにより、自主防災組織の組織率や活動が低迷している。

一方、平成30年7月豪雨災害においては、声かけによる避難で、命が救われた事例もあることから、県民の防災意識が高まっているこの機会を逸することなく、地域住民が協力し防災活動を行う「共助」の取組を推進する必要がある。

## 2 対応方針

市町村と連携し、自主防災組織の重要性の啓発に努めるとともに、「防災まちづくり総合支援事業費補助金」を効果的に活用し、新規の組織化や地域防災リーダーの養成など、より活動の活性化に重点を置いた支援を行うことで、地域の自主防災力の強化を図る。

## 3 自主防災リーダー研修会

自主防災組織のリーダー等を対象に防災知識の習得やスキルアップのための研修会を引き続き開催するとともに、今年度からは、今後自主防災組織を立ち上げたいと考える地域のリーダー等の初任者を対象に自主防災活動の事例発表や実践的なワークショップの実施など、近隣地域のリーダーが相互に活動を学び合い、地域でのより効果的な自主防災活動に生かすことができるための研修会を各県民局単位で実施する。

## 4 防災まちづくり総合支援事業費補助金

活動実態の把握や、地域の実情に応じた効果的な組織の育成、活動の活性化に積極的に取り組む市町村に対し、経費補助を行う。

平成31年度からは、名称及び補助メニューの拡充を行っている。また、今年度も引き続き要望額調査時には、県民局がとりまとめを行うよう変更している。

### 【補助金の概要】

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| (1) 補助対象者  | 市町村（政令指定都市である岡山市をのぞく） |
| (2) 補助率    | 市町村の対象事業費の2分の1以内      |
| (3) 予算額    | 平成31年度 20,000千円       |
| (4) 補助対象事業 | 別紙のとおり                |

## 自主防災組織の現況調査

(確定:平成31年2月8日消防白書)

H30.4.1											
	管内世帯数(A)			自主防災組織数			組織がその活動範囲としている地域の世帯数(B)			組織率 (B/A(%)) ※カバー率	
	H29(市町村)	H30(市町村)	増減	H29	H30	増減	H29	H30(市町村)	増減	H29	H30
岡山市	321,447	324,534	3,087	602	627	25	203,873	209,390	5,517	63.4	64.5
玉野市	27,827	27,727	▲ 100	68	68	0	19,545	19,544	▲ 1	70.2	70.5
備前市	15,862	15,720	▲ 142	88	90	2	13,705	14,109	404	86.4	89.8
瀬戸内市	15,400	15,488	88	178	178	0	11,504	11,726	222	74.7	75.7
赤磐市	18,119	18,211	92	132	132	0	18,119	18,211	92	100.0	100.0
和気町	6,250	6,267	17	48	50	2	5,971	6,192	221	95.5	98.8
吉備中央町	5,509	5,432	▲ 77	120	101	▲ 19	5,509	5,432	▲ 77	100.0	100.0
備前県民局	410,414	413,379	2,965	1,236	1,246	10	278,226	284,604	6,378	67.8	68.8
倉敷市	207,111	208,905	1,794	427	498	71	149,319	152,640	3,321	72.1	73.1
笠岡市	22,435	22,078	▲ 357	96	96	0	22,230	21,822	▲ 408	99.1	98.8
井原市	16,737	16,758	21	74	73	▲ 1	16,737	16,758	21	100.0	100.0
総社市	26,631	27,173	542	192	203	11	25,781	26,307	526	96.8	96.8
高梁市	14,582	14,501	▲ 81	39	47	8	11,703	11,616	▲ 87	80.3	80.1
新見市	12,857	12,765	▲ 92	101	95	▲ 6	9,092	9,060	▲ 32	70.7	71.0
浅口市	14,098	14,109	11	53	60	7	9,112	9,314	202	64.6	66.0
早島町	4,851	4,935	84	22	22	0	4,438	4,520	82	91.5	91.6
里庄町	4,428	4,369	▲ 59	13	17	4	4,428	4,369	▲ 59	100.0	100.0
矢掛町	5,363	5,421	58	39	39	0	4,425	4,443	18	82.5	82.0
備中県民局	329,093	331,014	1,921	1,056	1,150	94	257,265	260,849	3,584	78.2	78.8
津山市	44,778	44,988	210	183	177	▲ 6	44,778	44,988	210	100.0	100.0
真庭市	17,828	17,789	▲ 39	115	123	8	10,261	10,894	633	57.6	61.2
美作市	12,202	12,165	▲ 37	140	140	0	9,482	9,482	0	77.7	77.9
新庄村	383	386	3	1	1	0	383	386	3	100.0	100.0
鏡野町	5,597	5,620	23	73	75	2	4,539	4,600	61	81.1	81.9
勝央町	4,522	4,554	32	21	21	0	4,522	4,554	32	100.0	100.0
奈義町	2,546	2,582	36	19	19	0	2,546	2,582	36	100.0	100.0
西粟倉村	591	592	1	12	12	0	591	592	1	100.0	100.0
久米南町	2,268	2,282	14	14	14	0	2,268	2,282	14	100.0	100.0
美咲町	6,227	6,145	▲ 82	81	81	0	6,227	6,145	▲ 82	100.0	100.0
美作県民局	96,942	97,103	161	659	663	4	85,597	86,505	908	88.3	89.1
合計	836,449	841,496	5,047	2,951	3,059	108	621,088	631,958	10,870	74.3	75.1

自主防災組織率＝組織がその活動範囲としている地域の世帯数／管内世帯数(当年度の4月1日現在(「消防防災・震災対策現況調査」))

# 自主防災リーダー 研修会



岡山県では、自主防災活動の事例発表や実践的なワークショップの実施など、近隣地域のリーダーが相互に活動を学び合い、地域でのより効果的な自主防災活動に生かすことができるための研修会を開催します。

## A 総社市開催

5月18日（土）

### ○講義

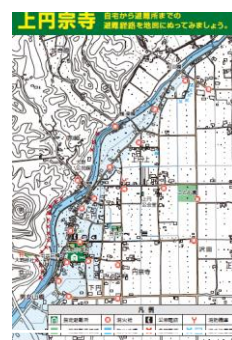
「地域住民で作る地区防災計画」（津山市城西公民館佐々木館長）

### ○ワークショップ

「防災マップ作成の仕方を学ぶ」（まちづくり推進機構岡山）

※地区防災計画とは：地区住民等が自発的に行う防災活動に関する計画

※防災マップとは：地域で災害時に役立つものや危険なものを地域住民が書き込んだマップ



（防災マップ）

## B 赤磐市開催

5月25日（土）

### ○講義

「西日本豪雨・アルミ工場爆発時の地域住民の避難行動について

～自主防災 組織の取り組み～」（総社市下原・砂古自主防災組織川田副本部長）

### ○ワークショップ「HUG・クロスロードを学ぶ」（まちづくり推進機構岡山）

※HUGとは：避難所に見立てた平面図に適切に避難者を配置できるか、トラブルにどう対応するか等が疑似体験できます。

※クロスロードとは：災害時の切迫した状況下での判断や行動を二者択一で選択していくカードゲーム。緊急時対応への心構えを学習できます。



（HUG）



（クロスロード）

## C 美咲町開催

6月8日（土）

### ○講義

「自主防災組織を立ち上げて」（玉野市和田・御崎地区自主防災組織連合会三浦会長）

### ○ワークショップ

「実際に役立つ避難訓練の手法を学ぶ」（まちづくり推進機構岡山）

(各研修会のご紹介)

研修会	A	B	C
日時	5月18日(土)	5月25日(土)	6月8日(土)
	13時～16時		
場所	国民宿舎サンロード吉備路 コンベンションホール (総社市三須 825-1)	赤磐市立中央図書館 多目的ホール (赤磐市下市 325-1)	美咲町林業センター 研修室 (美咲町原田 3111-3)
内容	○講義 「地域住民で作る地区防災計画」 (津山市城西公民館佐々木館長)  ○ワークショップ 「防災マップ作成の仕方学ぶ」 (まちづくり推進機構岡山)	○講義「西日本豪雨・アルミ工場爆発時の地域住民の避難行動について～自主防災組織の取り組み～」 (総社市下原・砂古自主防災組織川田副本部長)  ○ワークショップ 「HUG・クロスロードを学ぶ」 (まちづくり推進機構岡山)	○講義 「自主防災組織を立ち上げて」 (玉野市和田・御崎地区自主防災組織連合会三浦会長)  ○ワークショップ 「実際に役立つ避難訓練の手法を学ぶ」 (まちづくり推進機構岡山)
募集人数	60名程度	60名程度	60名程度
応募締切	5月10日(金)	5月17日(金)	5月31日(金)

※全3回で実施する研修は、すべて異なる内容のため、すべての研修にご参加いただけます。

※研修参加にあたり費用はかかりません。

※受付開始は、研修開催の30分前からになります。

※研修中には、参加者同士の交流会もありますので、つながりを作るためにも名刺等の連絡先が分かるものをお持ちください。

お申し込み方法

- 参加希望者は、FAX またはメール、ハガキにより申込みください。
- 定員に達し次第、締め切らせていただきます。定員に達したことにより参加できない方のみ、個別にご連絡いたします。
- メールまたはハガキにより申し込む場合は、「自主防災リーダー研修会」と記入の上、住所、氏名(フリガナ)、連絡先(電話番号)、希望研修会(A～C)を明記してください。
- 申込みされた方への整理券などは発行いたしません。当日会場へ直接お越しください。

申込書送付先

FAX : 086-225-4559

フリガナ	
参加者氏名	
ご住所	
連絡先(電話番号)	
メールアドレス	
希望研修会に○をつけてください	A 総社市開催      B 赤磐市開催      C 美咲町開催

お問い合わせ・お申し込み先

岡山県危機管理課地域防災推進班

〒700-8570 岡山県岡山市北区山下2-4-6

電話番号 : 086-226-7562      Mai : kouen@pref.okayama.jp

## 防災まちづくり総合支援事業 補助対象事業一覧

動機付け	区分	事業名	事業内容
防災意識を 高める	新規	防災活動学習 支援事業	自主防災組織や町内会等が独自に、又は、市町村と連携して、地域の防災活動の取組に生かすために、防災活動に取り組む先進地の視察、災害語り部の派遣、災害伝承等を行う防災学習施設や地域の見学を実施する事業
	組替	防災研修会等 支援事業	自主防災組織や町内会等が独自に、又は、市町村と連携して、防災に関する知識の普及啓発を図るために、防災研修会や講演会等を実施する事業
	新規	防災知識等 普及啓発事業	自主防災組織や町内会等が独自に、又は、市町村と連携して、防災知識の普及啓発に係る冊子の作成や防災関連イベントを実施する事業
地域の災害 リスクを知る	継続	地域防災リーダー 養成・スキルアップ 支援事業	地域の防災リーダー等（地域の自主防災組織等の推薦を有する者）が防災に係る資格を取得するために必要な受講料を補助する事業 市町村が地域の防災リーダーを養成するためのスキルアップ研修等を実施する事業
	新規	わがまち ハザードマップ 作成支援事業	自主防災組織や町内会等が独自に、又は、市町村と連携して、地域の災害リスクを確認し、災害時の迅速な避難につなげるため、小学校区単位や中学校区単位で自分のまちのハザードマップの作成等を行う事業
	組替	災害・避難カード等 作成支援事業	自主防災組織や町内会等が独自に、又は、市町村と連携して、災害時に適切な避難行動がとれるよう、地域の災害リスクの確認やワークショップを通じた、世帯ごとの「災害避難カード」作成等を行う事業（看板・標識等の設置を含む。）
避難を考える	新規	高齢者等 避難計画推進事業	自主防災組織や町内会等が独自に、又は、市町村と連携して、災害時に避難に支援が必要な高齢者等が適切な行動がとれるよう避難場所や介助する人を事前に把握し、避難計画（個別計画）を策定する事業
	継続	避難所共同運営等 支援事業	市町村が避難所運営マニュアル等に基づき自主防災組織等と連携し、もしくは自主防災組織等が独自に、避難所の共同運営訓練（HUG）等を実施する事業
	新規	避難所運営実働 訓練等支援事業	自主防災組織や町内会等が独自に、又は、市町村と連携して、避難所空間配置図（レイアウト）を作成し、避難所運営の実働訓練を実施する事業。
避難訓練	継続	避難訓練等 支援事業	自主防災組織や町内会等が独自に、又は、市町村と連携して、各種避難訓練等を実施する事業（避難訓練等） 避難行動訓練、避難誘導訓練、避難支援訓練、初期消火訓練、情報収集・伝達訓練、救助・救出訓練、炊き出し訓練等
発展期			